アルピタHG・HGミニ

取付説明書

このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので設置の場所・目的に合わせて選択してください。

■施工上のご注意

●商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。
また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。
●扉走行床面は水平に仕上げてください。
●電装商品の場合は配線工事を有資格の専門業者にご依頼ください。
●施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。

■使用上のご注意

●製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。
●錠の付いている商品は、通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
●開閉の時は必ず落とし棒を上げてから操作してください。
●開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。また、人・物等の障害物が無い事を確認してください。
●扉の上に物を載せないでください。
●扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
●この商品は吊元柱のみで本体を支える構造ですので扉には絶対に乗らないでください。

施工の前に

ダンボールケースには、下記の品が梱包されていますので、梱包数と部品をお確かめください。

■アルピタHG・HGミニ（員数・梱包点数は共通）

梱包確認表

梱包名称	員数	
	片開き	両開き
掛け側本体セット	1	1
受け側本体セット	—	1
片開き用柱セット	1	—
両開き用柱セット	—	1
梱包合計数	2	3

梱包明細表

●掛け側本体セット

名称	略図	員数
掛け側本体		1
落し棒受けパイプ		3
取付説明書		1
安全上のご注意（取扱説明書）		1

●受け側本体セット

名称	略図	員数
受け側本体		1
柱受け金具セット		1
落し棒受けパイプ		3

●片開き用柱セット

名称		略図	員数
戸当り柱			1
吊元柱			1
ヒジツボA			2
ヒジツボB			1
ヒジツボカバー			4
回転柱受け金具			1
柱受け金具セット			1
袋入	ヒジツボピンセット	各1	1
袋入	M8X20六角ボルト	8本入り	1
取付説明書			1

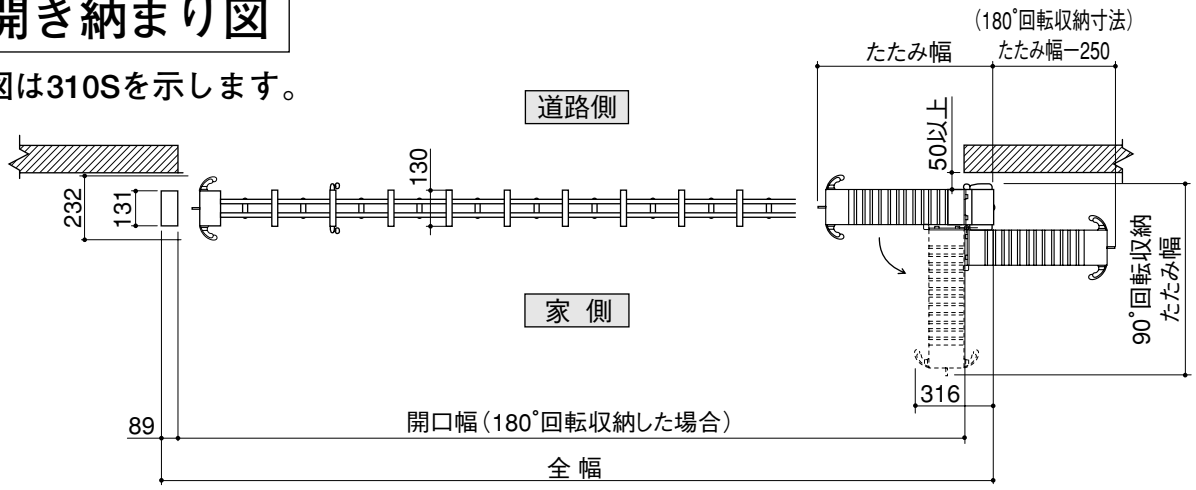
●両開き用柱セット

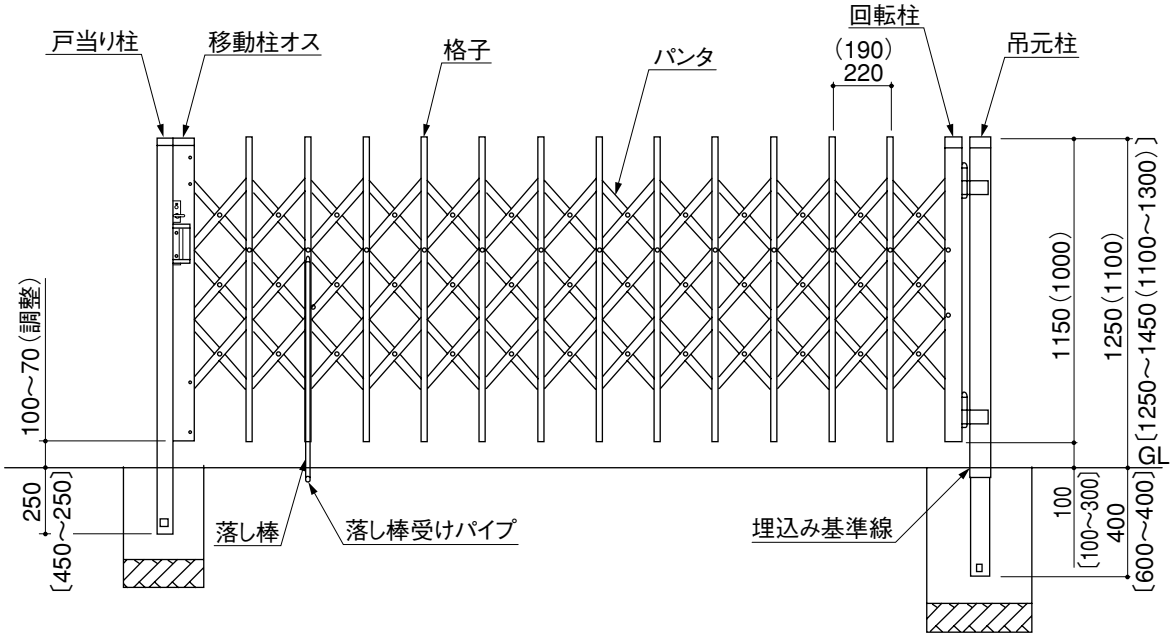
名称		略図	員数
吊元柱			2
ヒジツボA			4
ヒジツボB			2
ヒジツボカバー			8
回転柱受け金具			2
袋入	ヒジツボピンセット	各1	2
袋入	M8X20六角ボルト	8本入り	2
取付説明書			1

■各部の名称及び基本寸法

片開き納まり図

●本図は310Sを示します。





注）1.基礎は現場の状況に応じて大きさ、深さ等を考慮してください。
2.（　）内寸法はアルピタHGミニを示します。
3.〔　〕内寸法は、ロング柱を使用した場合を示します。

■アルピタHG

(mm)

呼 称	全 幅	たたみ幅	180°回転収納時間口幅
135S	1370	430	1146
180S	1810	495	1586
225S	2250	555	2026
265S	2690	620	2466
290S	2910	655	2686
310S	3130	685	2906

■アルピタHGミニ

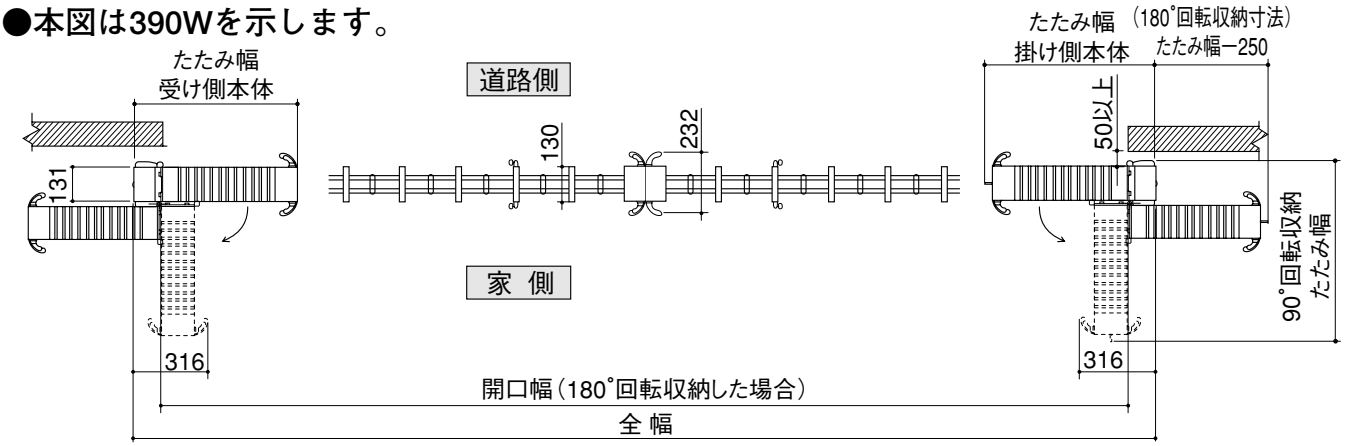
(mm)

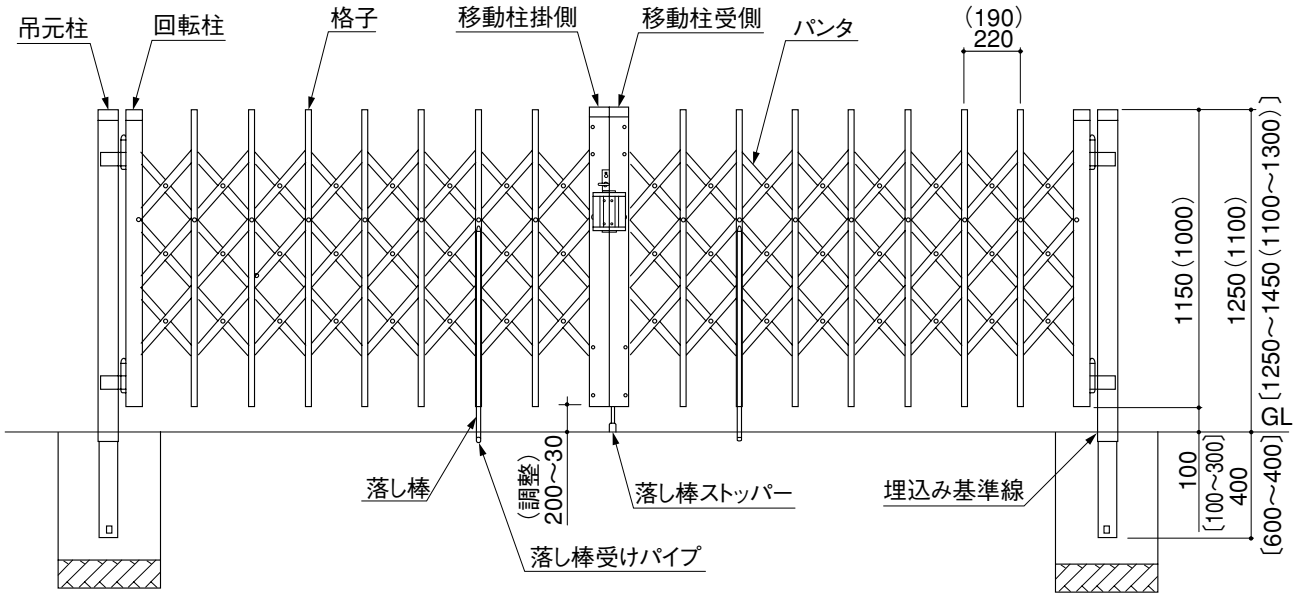
呼 称	全 幅	たたみ幅	180°回転収納時間口幅
120S	1220	430	996
160S	1600	495	1376
175S	1790	525	1566
195S	1980	555	1756
235S	2360	620	2136
270S	2740	685	2516
290S	2930	715	2706
310S	3120	750	2896

※90° 回転収納開口幅は全幅-405(mm) です。
90° 回転収納たたみ幅はたたみ幅+36(mm) です。

両開き納まり図

●本図は390Wを示します。





注）1.基礎は現場の状況に応じて大きさ、深さ等を考慮してください。
2.（　）内寸法はアルピタHGミニを示します。
3.〔　〕内寸法は、ロング柱を使用した場合を示します。
4.ロング柱を使用する場合、全閉時にG.Lから移動柱下面までの高さが落し棒ストッパーの調整範囲内（200〜30mm）に納まるように柱を埋設してください。

■アルピタHG

(mm)

呼 称	全 幅	たたみ幅		180°回転収納時間口幅
		掛け側	受け側	
345W	3490	495	496	3219
435W	4370	555	556	4099
525W	5250	620	621	4979
565W	5690	655	656	5419
610W	6130	685	686	5859

※90° 回転収納開口幅は全幅-632（mm）です。
90° 回転収納たたみ幅はたたみ幅+36（mm）です。

■アルピタHGミニ

(mm)

呼 称	全 幅	たたみ幅		180°回転収納時間口幅
		掛け側	受け側	
345W	3450	525	526	3179
380W	3830	555	556	3559
455W	4590	620	621	4319
535W	5350	685	686	5079
570W	5730	715	716	5459
610W	6110	750	751	5839

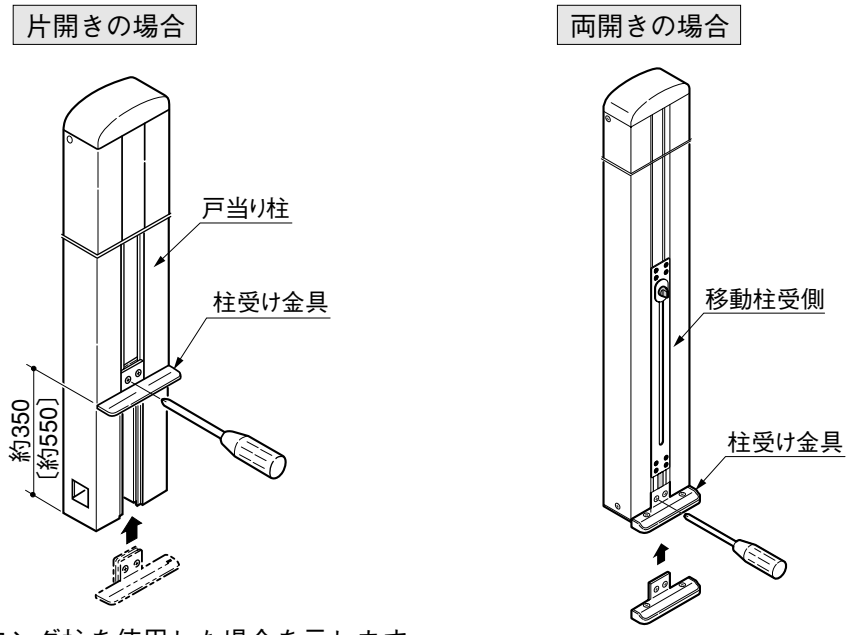
施工の手順

●施工は、番号順（1から2・・・・8）に作業してください。

（片開きの場合は右施錠を示します。）

1 柱受け金具の取りつけ

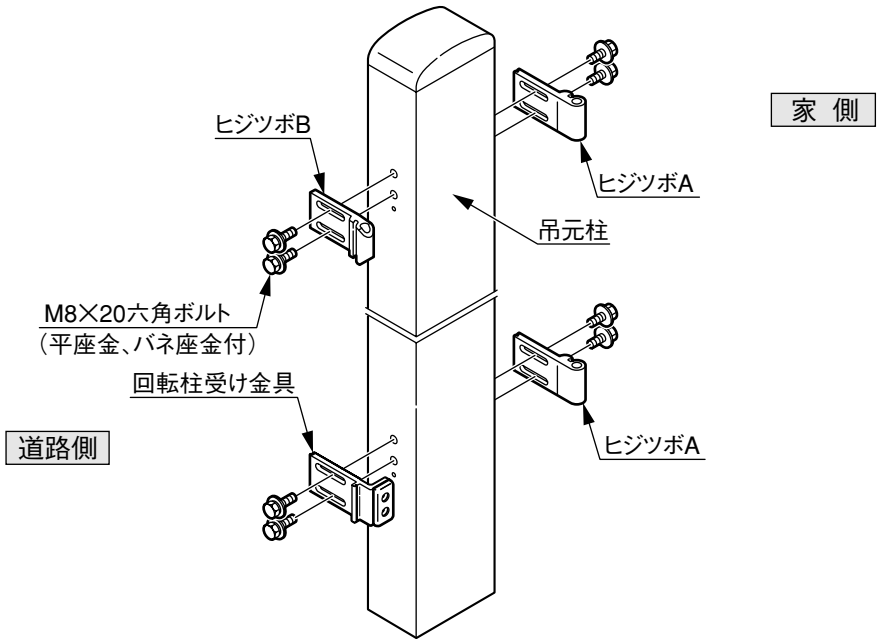
1．片開きの場合、戸当り柱の下端より約350の位置に柱受け金具を仮りに取りつけてください。
2．両開きの場合、移動柱受側の下端に柱受け金具を仮りに取りつけてください。
3．施工完了後、施錠金具の調整を行なった後、柱受け金具をしっかりと固定してください。



注）〔　〕内寸法はロング柱を使用した場合を示します。

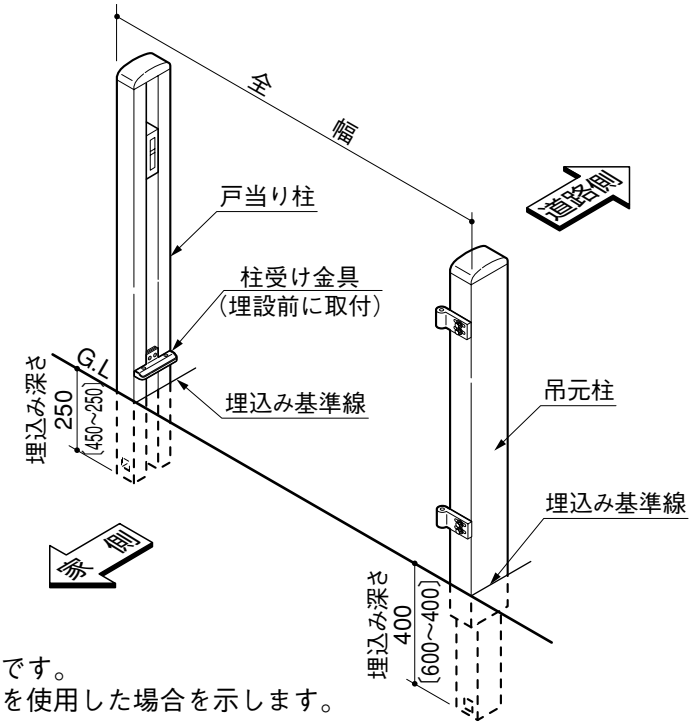
2 ヒジツボの取りつけ

1．〔納まり図〕を参考に本体の設置方向を確認の上、吊元柱にヒジツボA・Bおよび回転柱受け金具を取りつけてください。



3 戸当り柱、吊元柱の埋設

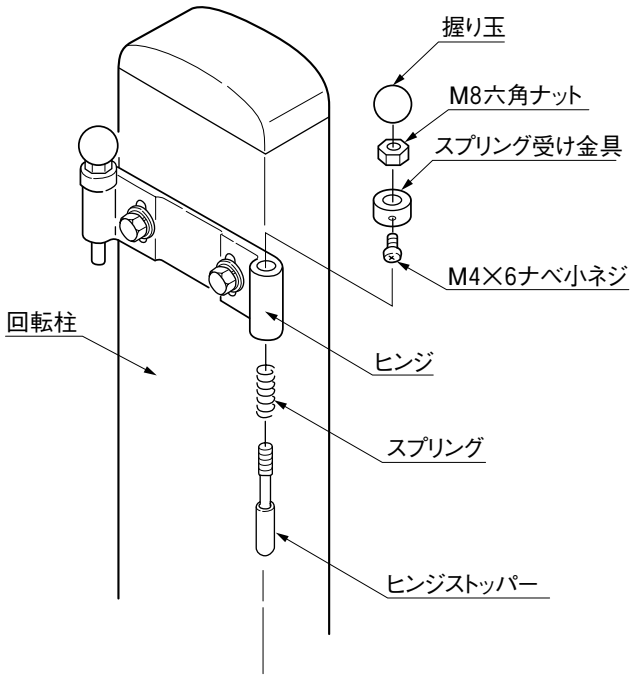
1.〔基本寸法・納まり図〕を参考に柱の埋込み位置を決定し、埋込み基準線迄埋込んでください。



注）1.本図は片開き右施錠の場合です。
2.〔　〕内寸法は、ロング柱を使用した場合を示します。

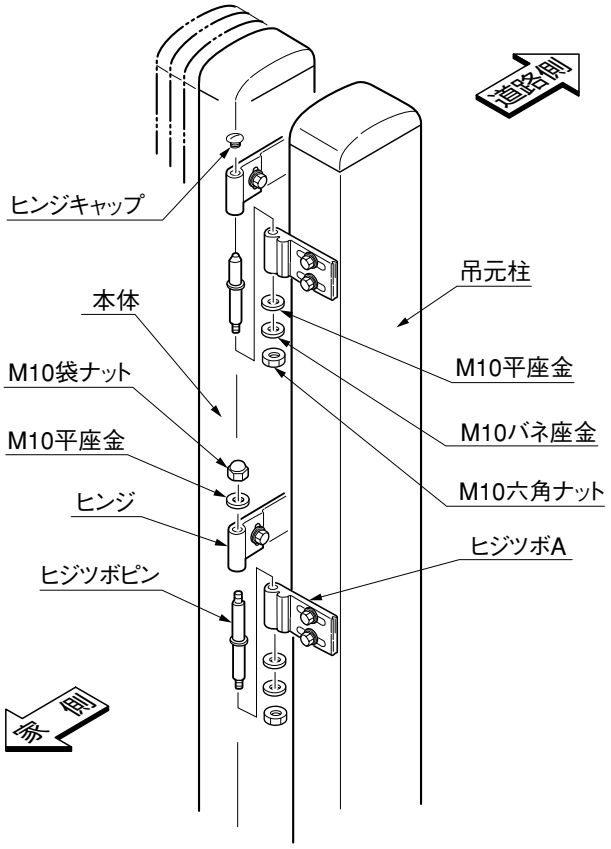
4 ヒンジストッパーのつけかえ
(左施錠でご使用の場合)

1. ヒンジストッパーは右施錠で取りつけています。
左施錠でご使用の場合は下図を参考にして左右をつけかえてください。

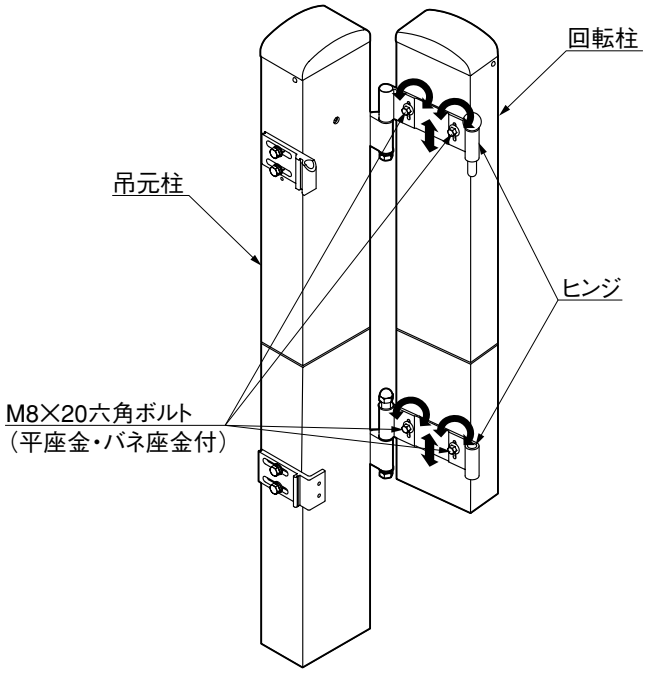


5 本体の取りつけ

1. コンクリートの硬化後、本体を吊元柱に取りつけてください。



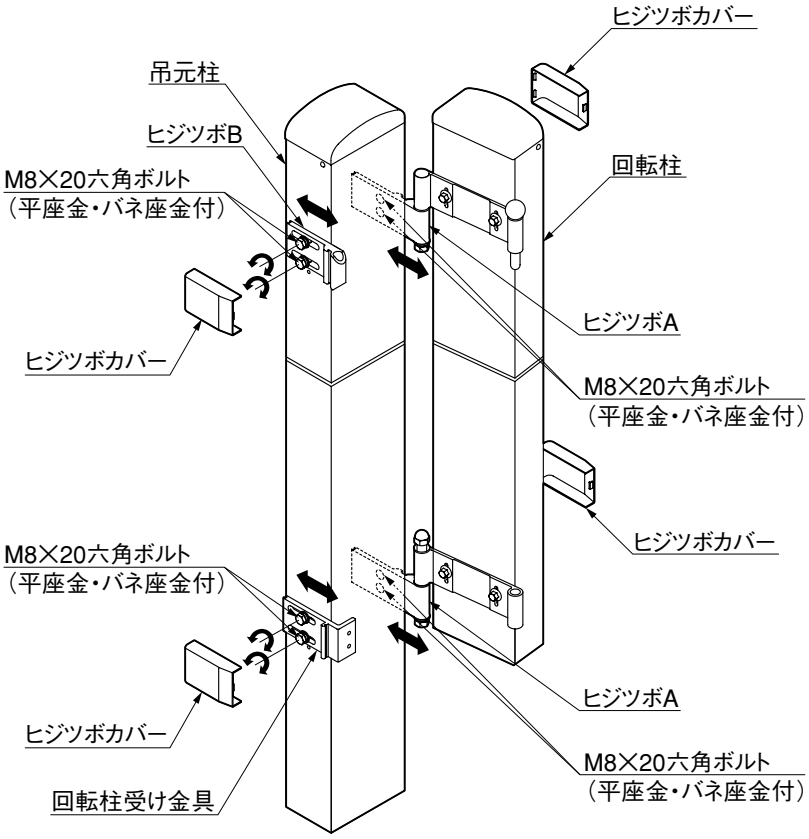
6 本体の高さの調整



1．吊元柱と回転柱が水平になるよう、本体の高さを六角ボルトをゆるめてヒンジの長穴で調整してください。

注）上下約10㎜の調整が可能です。

7 本体の水平の調整



1．本体が垂れたり反ったりする場合は本体が柱受け金具にまっすぐおさまるようヒジツボA・Bおよび回転柱受け金具の長穴で調整してください。

注）1．必ず本体が水平になり錠が錠受け金具にまっすぐおさまるように施工してください。本体の垂れ・破損・施錠不良の原因になります。

2．ヒジツボA・Bおよび回転柱受け金具の長穴は前後約19.5㎜の調整が可能です。裏側の溝により1㎜単位の調整ができます。

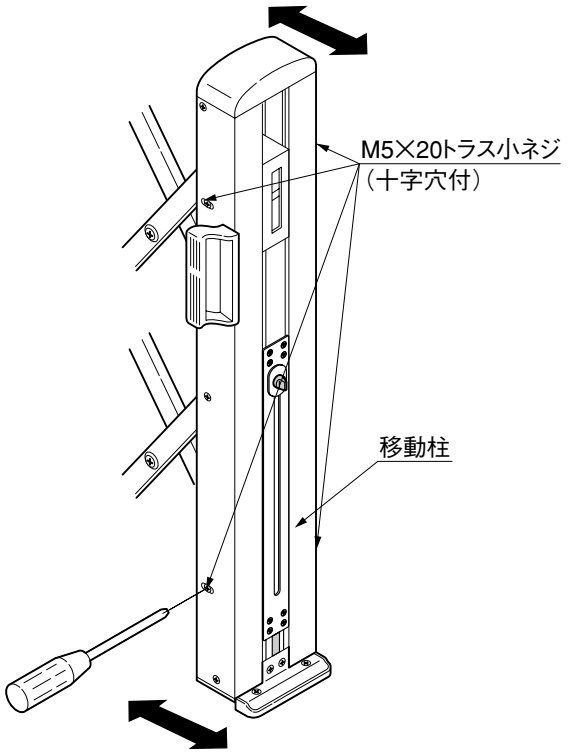
3．サイズによってはこの調整により吊元柱と回転柱が平行にならない場合があります。

2．調整後ヒジツボA・Bおよび回転柱受け金具にヒジツボカバーを取付けてください。

8 移動柱の角度調整方法

・戸当り柱と移動柱及び両開き時の移動柱どうしが平行に　取りつかない場合、下記の調整をしてください。

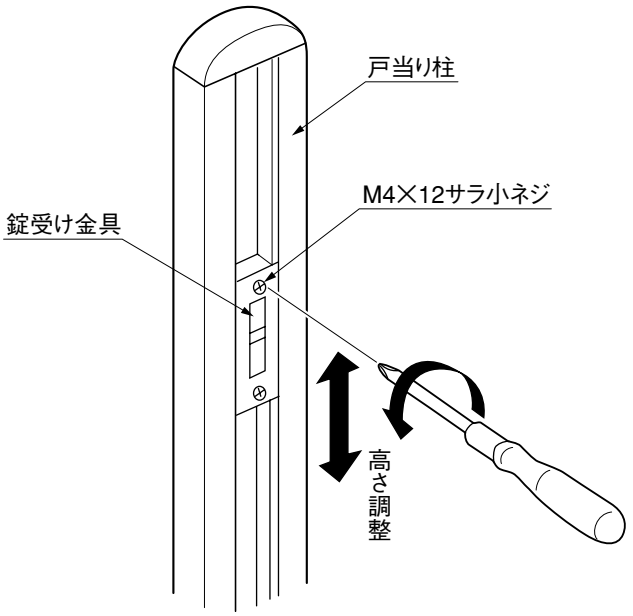
1．移動柱の長穴部分のネジ（４ヵ所）をゆるめ、戸当り柱（両開きの場合は他方の移動柱）と合わせた後、締め直してください。



9 錠受け金具の高さ調整

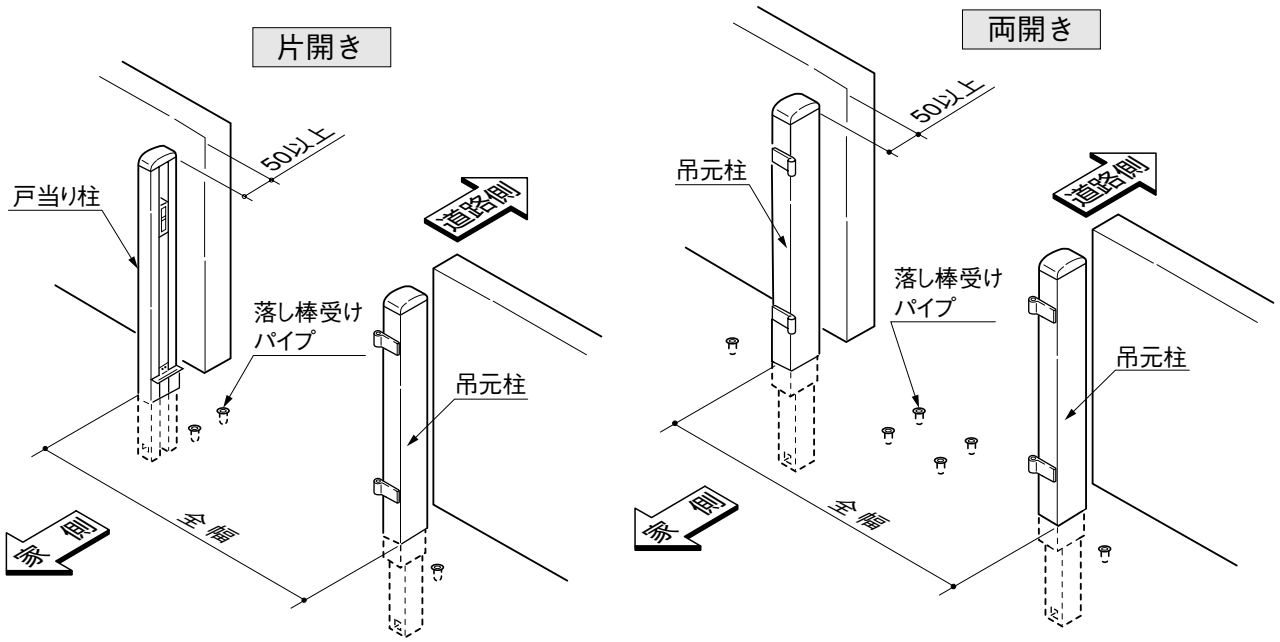
1．錠の掛け金具と錠受け金具が合うように、M4×12サラ小ネジをゆるめて高さ調整してください。

注）調整後は、サラ小ネジを十分締めつけてください。施錠不良の原因になります。



10 落し棒受けパイプの埋設位置

1．落し棒受けパイプは、扉を全閉（施錠）した位置および全開回転収納した位置にあわせて埋設してください。



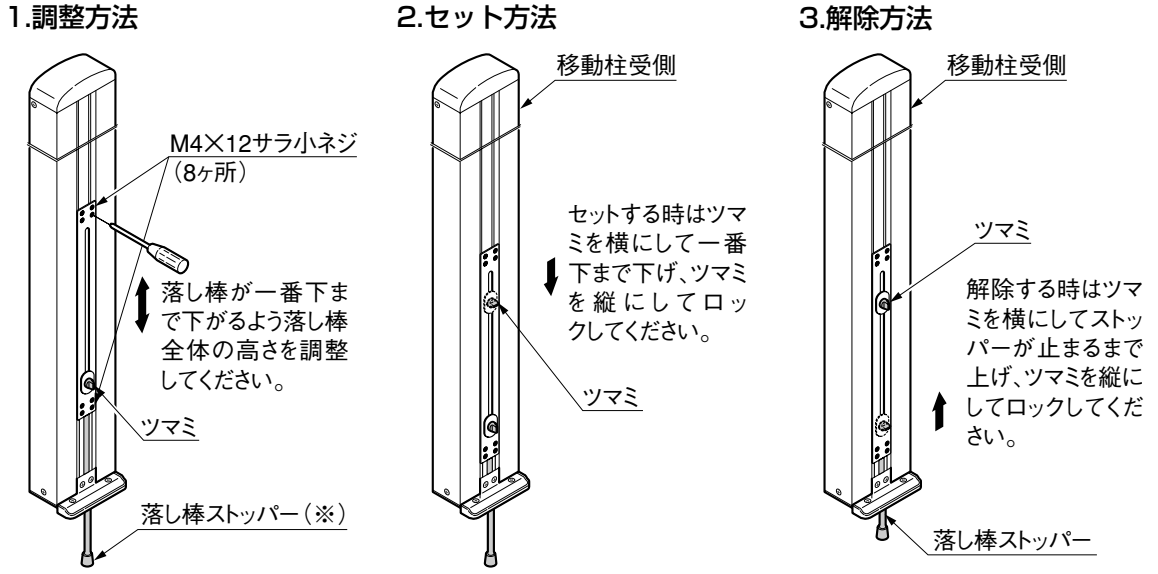
注）本図は右施錠を示します。

落し棒ストッパーの調整と操作方法（両開きの場合）

1.調　整　方　法：1.ツマミが一番下まで下がるようM4×12サラ小ネジをゆるめ落し棒全体の高さを調整してください。
2.落し棒ストッパー（※）が地面に着いていることを確認してM4×12サラ小ネジを締め直してください。

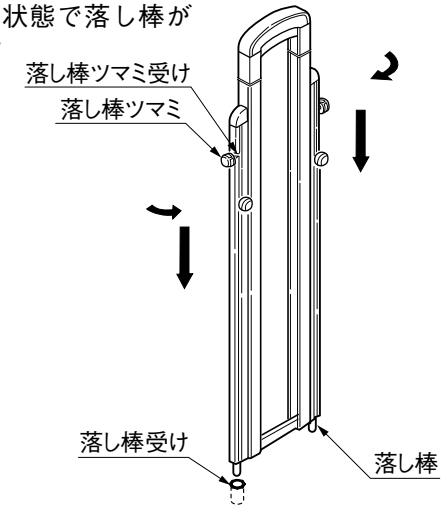
2.セ　ッ　ト　方　法：セットする時は移動柱受側を手でささえ、ツマミを横にして一番下まで下げてください。その後ツマミを縦にしてロックしてください。

3.解　除　方　法：解除する時は移動柱受を手でささえ、ツマミを横にして落し棒ストッパーが止まるまで上げてください。その後ツマミを縦にしてロックしてください。
※ツマミが回りにくい場合はツマミを上下に軽く動かし、ツマミが回る位置でツマミを縦にしてロックしてください。



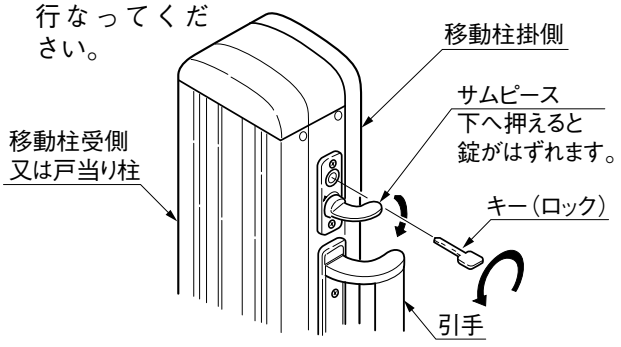
落し棒の操作方法

1．落し棒ツマミを一旦引き上げます。
2．落し棒ツマミを90°回して落し棒ツマミ受けの溝から外し、落し棒を下げます。
注）扉を閉めた状態で落し棒が落し棒受けに入ることを確認してください。



錠金具の操作方法

1．移動柱掛側と移動柱受側または移動柱掛側と戸当り柱を合わせて施錠してください。（キーロックはされません。）
2．扉を開く時は、サムピースを下に押えた状態で引手を引いてください。
3．錠金具はキー付きですので、キーロックをする時は、キーをキー穴に差し込み、90°回してください。
注）扉を閉めた状態で施解錠できることを確認してください。うまくできない時は、7.8.9の調整を再度行なってください。



取説コード
D262